

# 高SSH・探究News

Vol. 18

発行日：令和2年9月11日（金）  
発行：山口県立下関西高等学校



## 探究科1年次生が「夏休みディスカバリープロジェクト」に参加

8月3日（月）または4日（火）に、探究科1年次生が、夏休みディスカバリープロジェクトに参加しました。夏休みディスカバリープロジェクトでは、79人の生徒が8つのグループに分かれて下関市やその周辺地域の博物館等の施設を訪問し、社会や自然の事物・現象から課題を発見し、解決する方法を考える活動に取り組みました。それぞれの施設の皆さんが工夫を凝らした活動を準備してくださり、参加した生徒は、展示物の見学に加え、実習や観察、実験等の体験的な活動に取り組むことができました。9月16日（水）には、このたびの経験をクラス全員で共有するため、発表会を予定しています。1年次生は、この発表会に向け、準備を進めています。



【土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム】  
弥生時代の人骨から人類の未来を考察する



【下関市歴史博物館】  
下関市の歴史から地域の課題を発見する



【下関市考古博物館】  
地層の標本づくりに挑戦する



【下関市園芸センター】  
世界の植物の特徴を学ぶ



【つしま自然館】  
角島周辺の白い砂を観察し、その理由を考察する



【豊田ホテルの里ミュージアム】  
岩石から化石を発見する



【美祢市立秋吉台科学博物館】  
秋吉台のなりたちについて学ぶ

## 保健体育班がスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会で発表

本年度のスーパーサイエンスハイスクール（以下、「SSH」という。）生徒研究発表会に、発展探究の授業において、「君の声を聴かせて」というテーマで課題研究に取り組んだ、探究科3年次の保健体育班（青木 絢太、小林 仁美、杉林 遥、三好 俊輔、門田 斐斗、切田 光咲、松本 昂統）が参加しました。本発表会は、これまで兵庫県神戸市で開催されていましたが、新型コロナウイルスによる感染症を防ぐため、このたびはポスターや発表の様子を撮影した動画などを提出し、審査を受けることになりました。この審査の結果、保健体育班は、1次審査を通過し、8月17日（月）に開催された2次審査に進むことができました。2次審査はオンラインで行われ、大学の先生方で構成された審査員からおおよそ20分間にわたり質問を受けました。残念ながら、最終審査に進むことはできませんでしたが、参加した生徒は、「様々な発表会が中止になった中、大学の先生方から意見をいただく機会を得たことは大変貴重だった」等の感想を述べていました。



オンラインで審査員から質問を受ける生徒

## 小学生が西高にやってきた ～わくわく探究教室を開催～

8月8日(土)に、近隣の小学校に通学する児童を対象としたわくわく探究教室を開催しました。およそ50人の小学生が参加した探究教室では、算数、理科、家庭、英語などの教科・科目ごとにテーマを設定し、体験的な活動を行いました。第1回を開催した昨年度は、本校生徒がプレイングティーチャーとして小学生を指導しましたが、今年度は、新型コロナウイルスによる

感染症を防ぐため、参加を見合わせました。そこで、このたびは小学生に観察、実験等の方法を説明する動画を本校の1・2年次生が作成し、探究教室において上映しました。探究教室終了後に実施したアンケート調査には、「私も高校生になったら、小学生に教えてみたいと思いました」「動画が分かりやすかったので、高校生はすごいと思いました」等の感想がありました。また、動画を作った本校生徒からは、「どのような動画を作れば小学生が理解し、楽しんでくれるのか推測しながら作るのは難しかった」等の感想がありました。



【算数】めざせ計算マスター!! 【物理】カラフル! 早く! 遅く!?



【化学】インクの色が変わる!? 【家庭】塩の力でシャーベットを作ろう!



【生物】植物のつくりを観察しよう! 【英語】Let's enjoy English!

## 留学生との交流に向けたガイダンスを実施

11月11日(水)に予定している立命館アジア太平洋大学(以下、「APU」という。)の留学生との交流に向けたガイダンスを探究科2年次生は8月20日(木)に受講しました。APUは、およそ5,000人の学生のうち、留学生が半数を占める大学で、キャンパスでは多様な言語が飛び交っています。こうした特色ある大学の留学生との交流に向けた事前学習を行うため、アドミッション・オフィスの吉田様からAPUで行われている講義の様子や探究活動等の取組について説明を受けました。さらに、APUの留学生が日本の高校生に抱いている興味・関心についてもお話をされました。交流会では、発展探究の授業で取り組んだ課題研究の成果を英語を用いて留学生に披露する予定です。



オンラインで実施したガイダンスの様子

## コロナ禍における取組の推進

新型コロナウイルスによる感染症を防ぐため、今年度は、様々な活動が中止となってしまいました。こうした中、本校の生徒一人ひとりに課題解決力を育むため、インターネットを活用したオンラインによる取組を進めています。先ほど紹介したSSH生徒研究発表会やAPUの留学生との交流に向けたガイダンスに加え、夏休み期間中には、8月4日(火)に宇部高等学校の探究科の生徒と本校の探究科2年次生がオンラインで交流しました。交流



宇部高等学校の生徒と交流する物理班



マレーシアからの留学生と、オンラインで交流する生徒

では、互いの課題研究の進捗状況を報告し、議論を深めました。

さらに、8月6日(木)には、マレーシアから日本に留学している大学生と交流を希望する本校生徒20人が、オンラインで交流しました。マレーシアの文化や留学先として日本を選択した理由など、様々な話題について英語を用いて交流が進められ、英語を実践的に活用するよい機会となりました。